

奈良県教育委員会主催の研修会でブース出展

～「そんぽ」による安心・安全メニューのご紹介～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務取締役）では、7月31日（水）に奈良県産業会館で開催された、人がつながる「地域と共にある学校づくり」研修会にブースを出展しました。

当日は、幼稚園・保育園、小中高の教職員や地域ボランティア等が多数来場し、「ならの教育応援隊（県内の学校・園の教育活動の一層の充実のために、子どもたちに出前授業や見学等を提供する団体や企業）」に登録している31の団体・企業がブース出展し、各種教育メニューの紹介を実施しました。

当協会近畿支部では、リスク教育の取り組みとして、「ぼうさい探検隊」や「ぼうさいダック」についてチラシやカードを用いて実践例や活用方法を紹介するとともに、損害保険リテラシー向上の取り組みとして、「明るい未来へTRY！」の内容について冊子や動画で紹介すると共に、講師派遣についてもPRを実施しました。

来場者は、教職員をはじめとする教育関係者ということもあり、当協会が提供するメニューへの関心は高く、質疑応答含めて熱心に耳を傾けていただきました。

当支部では、今後も「ぼうさい探検隊」や「ぼうさいダック」等の防災啓発やリスク教育プログラムの普及促進に向けた取り組みに加えて、損害保険リテラシーの向上に取り組んでいきます。

（ご参考）当協会の各種教育メニューの詳細は、損害保険教育支援サイト「そんぽ学習ナビ」をご覧ください。

<https://www.sonpo.or.jp/education/>



出展したブース



来場者への説明の様子